

1 ナガサキアゲハの幼虫



ミカンなどの柑橘類の葉を食べるアゲハのなかまの幼虫は、敵をおどろかすために出す臭角（円）の色で種類を見分けることができます。写真はオレンジ色の臭角のナガサキアゲハです。

2 アカボシゴマダラのさなぎ



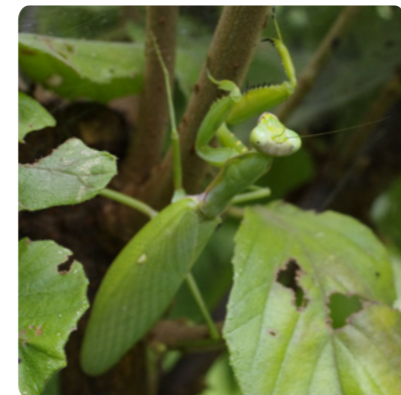
幼虫（円）がエノキの葉を食べて成長し、さなぎになりました。葉っぱによく似た姿で溶けこみ天敵の鳥から身を隠します。

3 バナナトラップで見た コクワガタ



真夏はあまり見かけず、春～初夏と夏を過ぎた頃に見かけます。最近の涼しい気候により出てきたのでしょうか。卵は朽ち木に産み付けられ、生まれた幼虫はまわりの朽ち木を食べて成長します。

4 オオカマキリ



春に生まれた幼虫は、同じく生まれたばかりの小さなバッタなどを食べて成長しています。背中に羽があれば成虫です。



羽がない幼虫（6月撮影）。



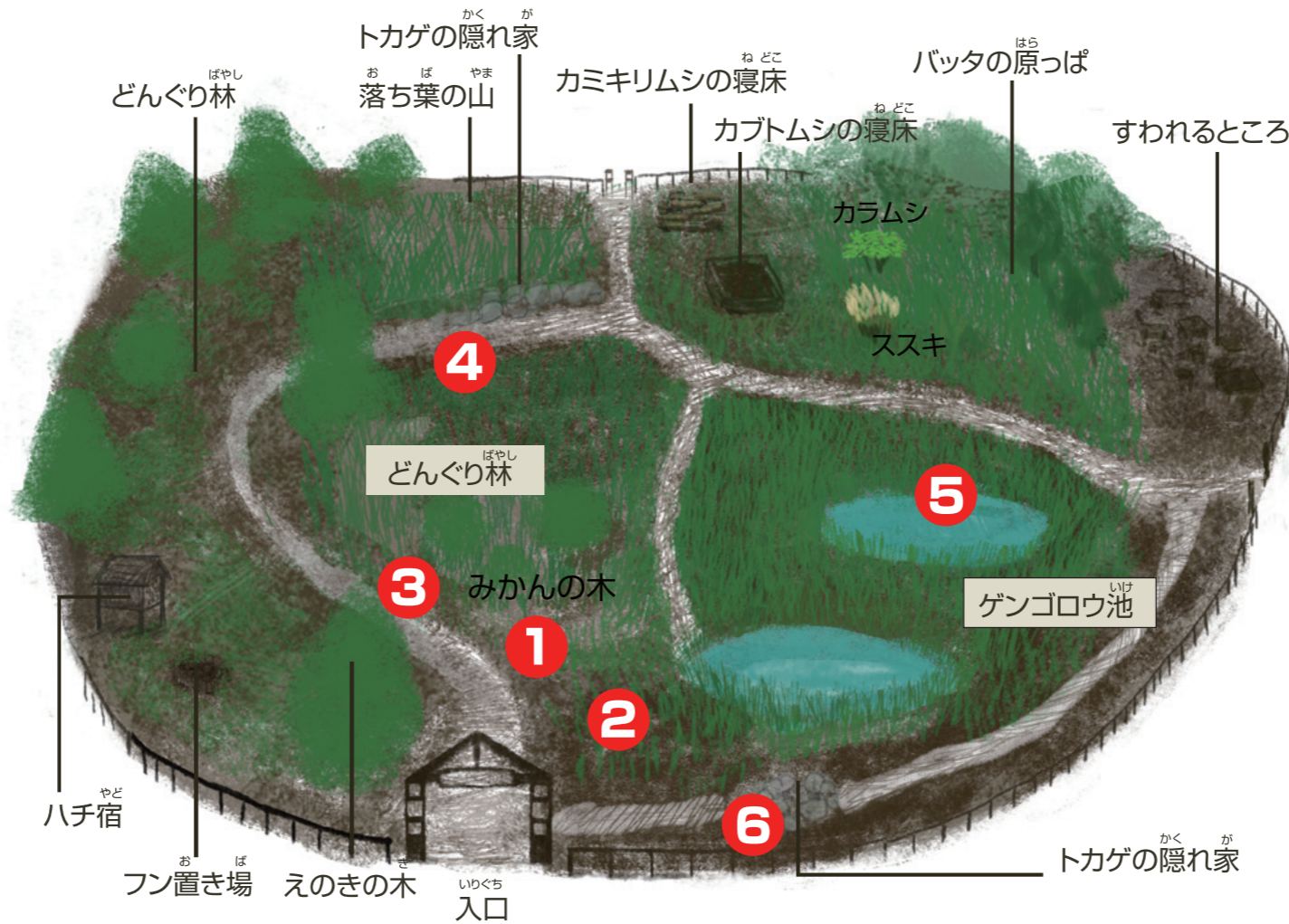
バナナトラップを設置しました

バナナに黒糖、お酒、イーストを混ぜて作った虫寄せのトラップを広場内に設置しています。その日どんないきものが来ているか、ぜひ確かめてみてください。

今週の

いきもの広場

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さな仕掛けがたくさんあります。8月を迎え私たちにとっては厳しい暑さが続きますが、広場で見られるいきものの種類はいっそう多くなりました。



6 バナナトラップで見つけた ルリタテハ



汁を吸っている時には羽をたたんでいるため樹皮のような地味な見た目ですが、広げると水色の帯がある（円）きれいな模様の羽です。今年は例年よりも多く見かけます。

5 オオシオカラトンボのオス



青い体色のオスと黄色のメスがくっついて飛んでいる姿を見かけるようになりました。メスが池に卵を産んでいる間、オスはすぐ近くを飛び回りペアのメスを他のオスから守ります。